

設問1

地域包括ケアシステムについて、誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	都道府県を単位として構築することが想定されている。
A2	本人・家族の在宅生活の選択と心構えが前提条件とされている。
A3	地域支援事業の実施主体は市町村である。
A4	多様な医療・介護支援のネットワーク化を重視している。
A5	住まいや住まい方が構成要素に含まれている。

正解 A1

日常生活圏域(具体的には中学校区)を基本とした圏域ごとに整備され、おおむね30分以内に駆けつけられる範囲を単位としている。

設問2

介護保険について、誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	第1号被保険者とは、65歳以上の医療保険加入者である。
A2	脳血管疾患は特定疾病に位置づけられている。
A3	介護保険法が成立したのは2000年である。
A4	スロープは介護保険の給付対象である。
A5	要介護認定を受けるには、主治医意見書が必要である。

正解 A3

介護保険法が成立したのは、1997年である。

設問3

外的キャリアとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	学歴
A2	仕事のやりがい
A3	資格
A4	職位
A5	研究業績

正解 A2

外的キャリアは「職業能力やそれに関連するもの」であり、第三者が客観的に確認できるもの。

内的キャリアは「仕事に対する動機や意味付け、満たされた価値観といった心理的な状態」である。

設問4

バイタルサインについて、誤っているものはどれか、一つ選べ。

A1	脈拍
A2	体温
A3	SpO2
A4	血圧
A5	意識レベル

正解 A3

SpO2はバイタルサインではない。呼吸数がバイタルサインである。

設問5

脳卒中に対する評価指標の組み合わせで誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	Fugl Meyer Assessment — 総合評価
A2	Functional Ambulation Categories — 歩行機能
A3	Trail Making Test — 注意機能
A4	modified Ranking Scale — 痙縮評価
A5	Scale for Assessment and Rating of Ataxia — 運動失調

正解 A4

modified Ranking Scaleは、障害の程度や自立度を評価する評価尺度である。痙縮の評価尺度は、modified Ashworth Scaleである。

設問6

実務担当者からマネジャーへの移行期間の5つの環境変化について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	「突然化」
A2	「二重化」
A3	「多様化」
A4	「煩雑化」
A5	「高齢化」

正解 A5

「高齢化」